



30代の煌めき

～今、弾いておきたい！
作曲家30代の作品を集めて～

KIZUNA Vol.18



藝高同期の仲間を迎えて～

Program

川田健太郎

J.S. バッハ／ブゾーニ：シャコンヌ
(無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番より)

前田拓郎

ベートーヴェン：
創作主題による32の変奏曲 ハ短調 WoO.80

佐藤卓史

ショパン：幻想ポロネーズ 変イ長調 作品61

本山乃弘

ラヴェル：高雅にして感傷的なワルツ

中谷政文

ブラームス：ホルン三重奏曲 変ホ長調 作品40
[共演：朝来桂一 (ヴァイオリン) 松坂隼 (ホルン)]

都合により曲目等を変更する場合がございます。予めご了承下さい。
題字：伊藤奏



朝来桂一 (Vn)

松坂隼 (Hr)

2019 9/23 (月・祝)

OPEN 13:30 START 14:00

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

入場料(全自由席)：一般 ¥4,000 学生 ¥2,500

【主催】“絆”

【後援】株式会社 河合楽器製作所／月刊ショパン／
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)／
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校響親会／
東京藝術大学音楽学部同声会

【お問い合わせ】電話：090-6525-3566 (前田)

Eメール：kizuna.pf@gmail.com

【チケット取扱】チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp (Pコード 151-596)

「絆」は、川田健太郎・佐藤卓史・中谷政文・前田拓郎・本山乃弘の5人で結成された男性ピアニストのグループです。私たちは、1999年春に東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学して以来、専攻を同じくする楽友として共に学びあい、尊敬しあい、ときには励ましあいながら、それぞれに精進を重ねて参りました。卒業後も互いの研鑽の成果を見つめるべく、2002年夏にスタートした「絆」ピアノコンサートは、多くの皆様の温かいご声援に支えられ、メンバーが世界中に研鑽の場を拡げても、年に一回は必ず集まり、5人の個性と絆をお聴きいただいております。

元号が平成から令和へと変わり、移り行く時の流れを感じる今日この頃、芸高46期生の私たちは30代半ばを迎えます。人生の大きな転機が訪れる30代。今回は大作曲家たちが30代に生み出した名作を取り上げ、その背景から見えてくる各人が対峙していた多種多様な人生のステージに迫ります。藝高同期の仲間を迎えての室内楽は4年目。今回も、思い出を共有する友人たちとのアンサンブルを通して、響き合い、広がっていく「絆」をお聴きいただければと思っております。



川田 健太郎(かわだ・けんたろう) 1983年東京都新宿区生まれ。東京藝大附属高校卒業後、チャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院卒業。ロームミュージックファンデーション奨学生。第14回かながわ音楽コンクール第1位、第1回青少年盛岡国際ピアノコンクール第3位、第4回東京音楽コンクール第3位。第15回ラフマニノフ国際ピアノコンクールファイナリスト。東京フィル、東京ニューシティ、神奈川フィル、群響、仙台フィル、大阪フィル、大阪交響楽団等と共演。近年は演奏活動の他に、映画、ドラマ、アニメ、舞台等の劇中ピアノ演奏、手元吹管演奏、演奏指導、NAOTO、三浦大知、家入レオ、倉木麻衣などのアーティストと共演するなど、ジャンルを越えて幅広い音楽シーンで活躍している。名古屋芸術大学大学院、白梅学園大学・短期大学、各講師。

前田 拓郎(まえだ・たくろう) 1983年長崎県島原市生まれ。3歳よりピアノを始める。1995年第49回全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第1位、及び野村賞受賞。1998年第52回同コンクール全国大会中学校の部第1位、及び野村賞受賞。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校、同大学音楽学部器楽科を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。2003年、第4回安川加壽子記念コンクール第1位、安川加壽子音楽賞受賞。2005年、第2回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA派遣部門金賞、Faith賞受賞。芸大在学中に「アリアドネ・ムジカ賞」「同声会賞」受賞。2008年度第35回日本ショパン協会賞受賞。2004年、皇太子殿下ご臨席の下「ショパンピアノ協奏曲の夕べ」に出演し芸大フィルハーモニアと共演したのをはじめ、これまでにポーランド国立クラフ室内管弦楽団、東京交響楽団等と共演。2008年、首相官邸にて胡锦涛・中国国家主席を迎えての晩餐会で演奏。これまでにピアノを馬場幸子、中村順子、多美智子に師事。近年では、日本各地にてピアノコンクールの審査員、公開講座の講師等務め、指導と演奏両分野において活動の幅を広げている。現在、尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科専任講師。

佐藤 卓史(さとう・たかし) 1983年秋田市生まれ。藝高在学中の2001年、日本音楽コンクールで第1位。東京藝術大学を卒業後、ハノーファー音楽演劇大学、ウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。2007年シュエベルト国際コンクール第1位、2010年エリザベート王妃国際コンクール入賞、2011年カントウ国際コンクール第1位など受賞多数。N響、東響、日本フィル、大阪響、ベルギー国立管などと共演。2014年よりシュエベルトのピアノ曲全曲演奏プロジェクト「佐藤卓史シュエベルトツィクルス」を展開中。BSテレ東「おんがく交差点」(土曜朝8:00〜)レギュラー出演をはじめ、放送・録音・室内楽・作編曲など幅広い分野で活躍している。

本山 乃弘(もとやま・のりひろ) 1983年長崎県五島市生まれ。2006年東京藝術大学卒業の後、巨匠アルド・チッコリーニ氏の知遇を得て2008年よりパリ・エコールノルマル音楽院に留学。各課程首席を経て、コンサーティスト高等課程を審査員満場一致にて修了。専攻科にて2015年まで研鑽を積む。2009-2012年度ヰグムント・ザレスキ財団奨学生。ショパン国際ピアノコンクール in ASIAコンチェルト C部門金賞・コンチェルト賞、第12回東京音楽コンクール第3位など受賞を重ねる。2003年皇太子徳仁親王殿下ご臨席の下ラトヴィア国立交響楽団と共演したのを始め、ソリストとして国内外のオーケストラとの共演やリサイタル出演を重ねる他、伴奏、室内楽の分野にも積極的に参加し、多くの共演者より信頼を得ている。国内の多くのコンクールで審査員を務め、ピティナ・ピアノコンペティションのアナリーゼ楽譜執筆や課題曲CD収録に携わる。東京藝術大学音楽学部非常勤講師。

中谷 政文(なかに・まさふみ) 1983年和歌山市生まれ。4歳よりピアノを始める。1994年全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第1位、並びに野村賞受賞。1997年全日本学生音楽コンクール大阪大会中学校の部第1位。2006年東京藝術大学を卒業。第22回マルサラ市国際ピアノコンクールにおいてファイナリストディプロマを授与される。2008年第8回ソフィア国際ピアノコンクール「アルペール・ルーセル」において第1位ならびに Y. Boukoff 賞を受賞。2010年インディアナ大学音楽学部修士課程修了。第6回サンダニエル国際ピアノミーティングにおいてショパン賞受賞。2012年ウィリアム・カペル国際ピアノコンクールにおいて The Martha M. Boucher Memorial 賞受賞。2011年9月よりマイアミ大学に所属し、ティーチングアシスタントを務め、2017年にブラームスの発展的変奏の考察に於いて博士号を取得し卒業。大阪センチュリー交響楽団、ソフィアカデミック管弦楽団等と共演。

朝来 桂一(あさきけいいち:ヴァイオリン) 東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。これまでに第1回、第11回、第20回記念別府アルゲリッチ音楽祭、米国アスペン音楽祭、ゴールドベルク記念音楽祭、指揮者大友直人氏、アランギルバート氏による「mmcj」など国内外の音楽祭に招待され出演。著名芸術家との共演を重ねるほかクラシック音楽を題材とした映画『マエストロ!』に劇中出演するなど、大分市出身の音楽家として幅広く親しまれている。

松坂 圭(まつざか・しゅん:ホルン) 福島市生まれ。9歳よりホルンを始める。東京藝大附属高校を卒業後、ドイツ・ミュンヘンへ留学。帰国後、東京藝術大学に入学し、在学中に読売日本交響楽団に入団。2016年より首席奏者。2013年には読響・東京芸術劇場名曲シリーズにおいて協奏交響曲(K.297b)のソリストを務めた。第74回日本音楽コンクール、第23回日本管打楽器コンクールにおいて第3位入賞。ホルンを阿部雅人、守山光三、W.Gaag、M.Neukirchnerの各氏に師事。



渋谷区文化総合センター大和田
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21

渋谷駅より徒歩5分 または
大和田シャトルバス(ハチ公口〜文化総合センター大和田)・
ハチ公バス(タヤけこやけルート)「文化総合センター大和田」下車すぐ